



Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2020年9月30日をもって、第73期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染症が国内外経済に与える影響は依然として不透明な状況です。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち高級オーディオ機器事業は、次世代アンプの要素技術の確立と新規カテゴリーへの挑戦でラインナップを拡充し、海外市場を伸ばす事で堅実な成長路線を目指します。一般オーディオ機器事業は、中高級機のReferenceシリーズ強化と、特色のあるアナログ製品は、すべてのカテゴリーにおいて新製品が競合に比べ常に個性的な価値を持つ事で、収益向上とブランド・イメージの回復を引き続き目指します。

音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、世界各国で連携したデジタルマーケティングの強化および多数の戦略的新製品の投入により製品ラインナップを更に拡充します。

情報機器事業においては、IoTやAIなどの市場の先端技術への取り組みを行う事により、新しい市場への開拓を進めてまいります。

当中間期におきましては、新型コロナウイルスの影響により売上収益は減少しましたが、販売費及び一般管理費の削減により、親会社の所有者に帰属する四半期損失は前年同期と比較して改善しました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上収益は66億3千6百万円(前年同期比2.8%減)、営業損失は8千8百万円(前年同期営業損失8千1百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は1億7百万円(前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失1億8千5百万円)となりました。

通期の業績見通しについて

当社グループの業績の特性は、季節要因により、売上、利益とも第4四半期会計期間に集中する傾向があります。

2021年3月期の連結売上収益は148億円、営業利益2億5千万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は1億円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

連結業績ハイライト (国際会計基準)

	第71期 2019年3月期	第72期 2020年3月期	第72期(中間) 2019年9月期	第73期(当中間) 2020年9月期
売上収益(百万円)	15,682	14,745	6,825	6,636
営業利益(百万円)	601	286	△81	△88
税引前当期利益(百万円)	291	69	△188	△115
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	51	27	△185	△107
基本的1株当たり当期利益(円)	1.77	0.94	△6.43	△3.72
資産合計(百万円)	9,316	9,540	10,015	9,630
資本合計(百万円)	1,320	1,417	955	1,214

音響機器事業

67.0%

売上収益 **4,454 万円**
(前年同期比 4.9%増)

セグメント営業利益 **387 百万円**
(前年同期比 29.0%増)

高級オーディオ機器（ESOTERICブランド）は、新型コロナウイルス感染症拡大の初期において国内外で販売店の一時閉鎖や都市のロックダウンが影響し一時的に売上は減少しましたが、その後は国内、海外市場とも順調に回復し、プリアンプのフラッグシップ機GR/C1Xを上市したアンプカテゴリーや、巣ごもり需要で拡大したネットワークプレーヤーカテゴリーが前年同期に比較して大きく伸びました。全体では若干減収となりましたが、販売費及び一般管理費の減少と利益率の改善で増益となりました。

一般オーディオ機器（TEACブランド）も、新型コロナウイルス感染症拡大の初期においては、一時的に売上は減少しましたが、その後は巣ごもり需要やネットワーク需要の追い風もあり、特に国内ではEC販路での販売が引き続き好調に推移しました。一方海外は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要減から急速な回復に転じました。それにより全体としては増収となり利益率の改善と販売費及び一般管理費の減少も相まって増益となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）は、BtoC事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による巣ごもり需要が継続し、音楽制作向け製品の販売がEC販路を中心に堅調な推移となりました。BtoB事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の継続により、各種設備工事案件が遅延するなど、業務用レコーダー・プレーヤーの販売は低調に推移しました。プロダクトミックスにおいてBtoC製品の比率が高まったことから利益率は前年同期比で低下したものの、BtoC製品の販売が売上をけん引した事により、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては増収増益となりました。

- 高級オーディオ機器
- 一般オーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

情報機器事業

28.3%

売上収益 **1,876 百万円**
(前年同期比 17.7%減)

セグメント営業損失 **11 百万円**
(前年同期セグメント営業利益 158 百万円)

航空機搭載記録再生機器は、海外顧客への出荷が低調に推移、また機内エンターテインメント用サーバーは、国内エアラインからの開発受注とシステム導入があったものの、新型コロナウイルスの影響による受注減が大きく、減収となりました。

計測機器は、データレコーダーでは新型コロナウイルスの影響で、自動車関連各社の予算の凍結や延期があったため低調に推移しました。一方センサー関連においては大手半導体製造装置メーカー及びその他装置メーカーへの販売が好調に推移したことから、計測機器全体としては増収となりました。

医用画像記録再生機器は、消化器内視鏡向けレコーダーは国内のクリニック向けの販売が新型コロナウイルスの影響により低調に推移、また手術画像用レコーダーも同じく新型コロナウイルスの影響で国内外で販売減となり前年同期比で減収となりました。

ソリューションビジネスは、受託開発案件が低調に推移したことから、減収となりました。一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、需要減により減収となりました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器 トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

売上収益
6,636 百万円

前年同期比 2.8%減

その他事業 4.7%

売上収益 **307 百万円**
(前年同期比 3.0%増)

セグメント営業利益 **21 百万円**
(前年同期セグメント営業利益 34 百万円)

- EMS 事業

要約連結財政状態計算書

	当中間期	前期
	2020年 9月30日 現在	2020年 3月31日 現在
■ 資産		
流動資産	7,276	7,052
現金及び現金同等物	2,025	1,479
営業債権及び その他の債権	2,494	3,218
棚卸資産	2,538	2,081
その他の流動資産	218	274
非流動資産	2,355	2,488
有形固定資産	1,988	2,099
無形資産	137	159
その他の投資	3	6
繰延税金資産	47	41
その他の金融資産	152	152
その他の非流動資産	28	30
資産合計	9,630	9,540

Point 1 連結財政状態計算書

＜ 資産合計 ＞
現金及び現金同等物の増加 546 百万円、営業債権及びその他の債権の減少 724 百万円、棚卸資産の増加 458 百万円となり、前期末と比較し 90 百万円の増加となりました。

＜ 負債合計 ＞
借入金の増加 411 百万円、営業債務及びその他の債務の増加 293 百万円、その他の流動負債の減少 154 百万円、退職給付に係る負債の減少 163 百万円となり、前期末と比較し 294 百万円の増加となりました。

Point 2 連結損益計算書

＜ 売上収益、親会社の所有者に
帰属する四半期利益 ＞
新型コロナウイルス感染症の影響により売上収益は減少しましたが、販売管理費及び一般管理費の削減、金融費用の減少等により、親会社の所有者に帰属する四半期損失は前年同期と比較して改善しました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

＜ 営業活動による キャッシュ・フロー ＞
主な内訳は、プラス要因として、営業債権及びその他の債権の減少額 713 百万円、マイナス要因としては、四半期損失 116 百万円、棚卸資産の増加額 468 百万円、退職給付に係る負債の減少 168 百万円であります。

＜ 財務活動による キャッシュ・フロー ＞
プラス要因として、短期借入金の増加 133 百万円、長期借入による収入の増加 450 百万円、マイナスの要因として、長期借入金の返済による支出 128 百万円、リース負債の返済による支出 177 百万円であります。

(単位：百万円)

	当中間期	前期
	2020年 9月30日 現在	2020年 3月31日 現在
■ 負債		
流動負債	5,715	5,499
借入金等	2,907	2,802
リース債務	337	336
営業債務及びその他の債務	1,173	880
引当金	580	596
未払法人所得税	27	41
その他の流動負債	691	845
非流動負債	2,701	2,623
借入金等	357	51
リース負債	417	520
退職給付に係る負債	1,826	1,989
引当金	42	41
繰延税金負債	11	9
その他の非流動負債	49	13
負債合計	8,416	8,123
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	1,128	1,323
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	36	36
自己株式	△ 121	△ 121
利益剰余金	1,051	1,158
利益剰余金 (IFRS 移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	93	181
非支配持分	85	94
資本合計	1,214	1,417
負債及び資本合計	9,630	9,540

要約連結損益計算書

	当中間期	前中間期
	2020年4月1日～ 2020年9月30日	2019年4月1日～ 2019年9月30日
売上収益	6,636	6,825
売上原価	3,828	3,793
売上総利益	2,808	3,031
販売費及び一般管理費	2,930	3,128
その他の損益	33	15
個別開示項目前営業損失 (△)	△ 88	△ 81
個別開示項目	—	—
営業損失 (△)	△ 88	△ 81
金融収益	64	1
金融費用	91	108
持分法による投資利益(△損失)	—	—
税引前四半期損失 (△)	△ 115	△ 188
法人所得税費用	1	0
四半期損失 (△)	△ 116	△ 189
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	△ 107	△ 185
非支配持分	△ 9	△ 3

(単位：百万円)

要約連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間期	前中間期
	2020年4月1日～ 2020年9月30日	2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	384	29
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 83	0
財務活動による キャッシュ・フロー	248	△ 74
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 3	△ 23
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	546	△ 68
現金及び現金同等物 期首残高	1,479	1,716
現金及び現金同等物 四半期末残高	2,025	1,649

(単位：百万円)

要約連結持分変動計算書 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計	
	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金	利益 剰余金 (IFRS 移行 時の累積換 算差額)	その他の 資本の 構成要素			合計
当期首残高	3,500	36	△ 121	1,158	△ 3,430	181	1,323	94	1,417
四半期包括利益									
四半期損失 (△)				△ 107			△ 107	△ 9	△ 116
その他の包括利益						△ 88	△ 88		△ 88
四半期包括利益合計	—	—	—	△ 107	—	△ 88	△ 195	△ 9	△ 204
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
当四半期末残高	3,500	36	△ 121	1,051	△ 3,430	93	1,128	85	1,214

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。



PE-505 フルバランス・フォノアンプ

ティアックの Reference 500シリーズに新たなカテゴリ商品となるフルバランスフォノイコライザーアンプ PE-505を2020年8月に販売開始いたしました。

ありのままを録音し、ありのままに再生する。記録と再生にこだわるティアックのオーディオ技術の粋を集めて開発されたPE-505は、レコード製作者の意図を正確に再現するために、レコード針の微小な信号を、音質を損なうこと無く増幅し、正確なRIIAフォノイコライザーにより、盤面に刻まれる前の原音にいかにも近づけるかを追求した製品です。

高精度のRIIA補正回路の他、DECCA、COLUMBIAの各EQカーブにも対応。また、MCカートリッジの負荷抵抗に加え、MMカートリッジの負荷容量切り替えも備えており、レコードやカートリッジに合わせたセッティングが可能です。

TEAC

Grandioso C1X Linestage Preamp

ESOTERICのトップラインであるGrandiosoラインに、新型のプリアンプGrandioso C1Xを8月に販売開始いたしました。2014年に数々のタイトルを手にしたGrandioso C1を超えるべく、Grandioso C1Xはプリアンプの核心とも言えるボリュームシステムを刷新。精度と純度を格段に向上させ、プリアンプとして次の時代のスタンダードにするべく開発いたしました。

「固定抵抗切替式アッテネーター回路」の優れた音質そのままに、「可変抵抗ボリューム回路」のように無段階でお好みの音量に正確に設定できる、アッテネーター回路が作れないものか？

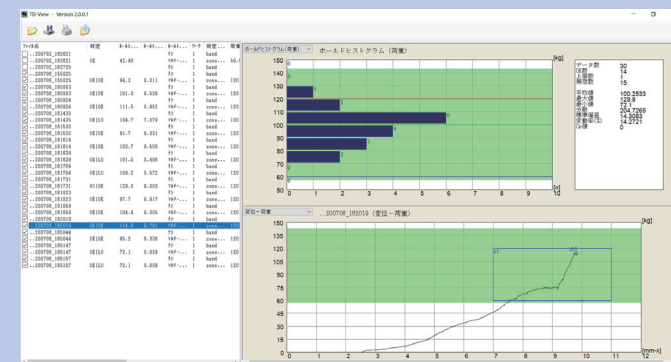
ESOTERIC開発陣は、相矛盾する2つの命題に挑み、Grandioso C1Xにこの度新搭載したウルトラフィデリティアッテネーターシステムを開発しました。

ESOTERICのアイデンティティであるデュアルモノフルバランス回路をさらなる高みに誘うウルトラフィデリティアッテネーターシステムは、従来のGrandioso C1の0.5dB/100ステップを大きく上回る0.1dB/1,120ステップを実現。このシステムにより刷新された伝統のクアッド回路「ESOTERIC-QVCS」は、オーディオ信号の左右、正負の独立性に加え、新たに音量調整の緻密さを獲得しました。

ESOTERICのアンプがその誕生より常に掲げている、「MASTER SOUND WORKS - オリジナルマスターに捉えられた音楽情報のすべて」にGrandioso C1Xは、さらに近づきます。



ESOTERIC



TEAC

TD-View

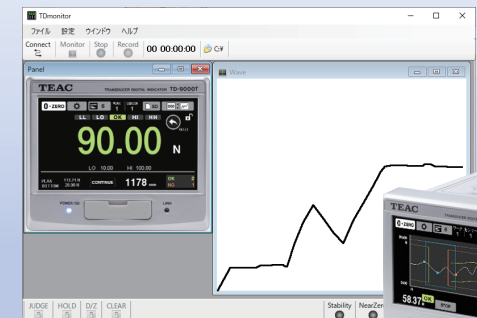
TD-9000T オフラインデータビュープログラム

カラーグラフィックデジタル指示計『TD-9000T』で測定したデータをパソコンで管理することができる、オフラインデータビュープログラム「TD-View」の提供を開始いたしました。

「TD-View」はSD/SDHCカードに記録されたデータをパソコンで表示・統計解析することができるソフトウェアで、統計的工程管理に威力を発揮します。

個別計測データはもちろん、リスト全体の良否判定点の傾向やヒストグラムおよび統計処理した値が表示されます。測定データはCSV形式で保存することができ、保存された指示値リストやグラフデータを簡単な操作で確認することができます。

また、『TD-9000T』とパソコンをUSB接続することで、各種設定・モニタリング・データ保存をパソコン上で行える、パソコン用設定ソフト「TD Monitor for TD-9KT」の提供もあわせて行っております。



TASCAM®

「DR-05Xで テレワークを乗り切れ！」



コロナ渦にみる新たな製品需要。
ウェビナーやオンラインセミナーを通じて
“新しいユーザーとの関係”づくり。

現在、新型コロナウイルスによる「新しい生活様式」へのシフトとして、ZOOMなどのツールを使ったオンラインコミュニケーションが浸透してきました。また充実した自宅時間の過ごし方としてインターネットライブ配信に大きな注目が集まっています。

TASCAMは、オンラインコミュニケーションの支援策として、ハイレゾレコーダー/USBマイク『DR-05X』を使ってのビデオ通話音質改善の無料ウェビナーを開催。ウェビナーに参加頂いた方々からは、「早速オンライン会議で試してみます」、「次回のウェビナーにも参加します」といった弊社製品活用への意欲や今後の弊社取り組みへの期待のお言葉を頂きました。

さらに『TASCAM配信サミットfrom 御茶ノ水 Rittor Base』では、ハイレゾレコーダー DR-05Xを使用した配信初心者を想定した配信から、PCレスで業務用配信を実現するハードウェアエンコーダー VS-R264を使っての配信までライブ配信の高音質化に必要な機器を一堂に集め、ニコニコ生放送、SHOWROOM、YouTube LIVEを通じてティアックスタッフが製品や事例をご紹介するオンラインセミナーを実施。人気アーティスト高田漣さんをお迎えしたスペシャルアコースティックライブも開催し好評を博しました。



TASCAM.



Art by necōmi © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

初音ミクモデル『VL-S3BT MIKU』と
鏡音リン・レンモデル『VL-S3BT RIN LEN』を限定発売。
YouTubeで大人気のASMRアーティスト『はとむぎ』との夢のコラボも実現！

TASCAM.

『VL-S3BT』はニアフィールドモニターならではの再現性とBluetooth®の利便性を併せ持ち、コンパクトサイズながら、80Hz～22kHzというワイドな周波数特性を誇る2ウェイパワードモニタースピーカーで、発売以来大変ご好評をいただいております。

このたびTSUKUMOブランドとのコラボで限定発売された初音ミクモデルの『VL-S3BT MIKU』と鏡音リン・レンモデルの『VL-S3BT RIN LEN』は楽曲制作におけるシビアなモニタリングに対応するだけでなく、各キャラクターの世界観をあしらったデ

ザインと相まって、日々の創作を楽しくするスピーカーです。

また、YouTubeやLisPonなどのSNSへの作品投稿で世界的に人気を博し、2018年にはメジャーデビューも果たしたASMRアーティストはとむぎとTASCAMのコラボが実現。ASMR動画収録での定番レコーダー『DR-05X』をはじめヘッドホン『TH-06』や特製ヘッドホンスタンドなど、細部にまでこだわったはとむぎ監修によるコラボ製品を発売し大変多くの反響をいただきました。



Art by necōmi © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro



会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 英裕治
従業員数 単体244名 連結642名

●国内拠点

ティアック株式会社
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
エソテリック株式会社 [東京都]
ティアックマニファクチャリングソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

●海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC UK LTD. [英国]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

役員

代表取締役社長 英裕治
取締役 野村佳秀
取締役(監査等委員) 吉村邦彦
取締役(監査等委員) 原琢己
取締役(監査等委員) 坂口洋二

株式の状況

発行可能株式総数 …… 40,000,000株
発行済株式の総数 …… 28,808,946株(自己株を除く)
株主数 …… 13,500名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
Evo Fund	7,445	25.84
CREDIT SUISSE AG, DUBLIN BRANCH PRIME CLIENT ASSET EQUITY ACCOUNT	1,003	3.48
MLI FOR CLIENT GENERAL NON TREATY-PB	987	3.43
楽天証券株式会社	559	1.94
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS MILM FE	519	1.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	460	1.60
日本証券金融株式会社	431	1.50
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	294	1.02
オンキヨー株式会社	289	1.00
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	250	0.87

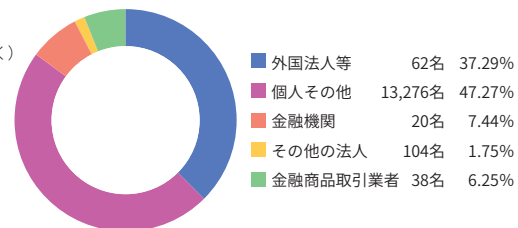
(注) 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

(注) 持株比率は、自己株式(122,767株)を控除して計算しております。

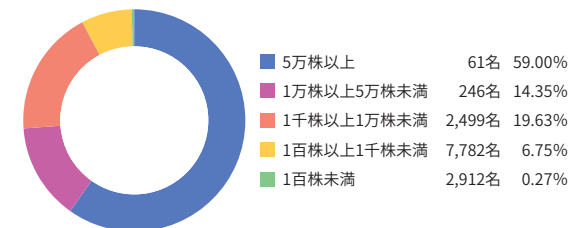
(注) 2020年7月14日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、エボファンド(Evo Fund)が2020年7月13日現在で10,000千株を保有している旨が記載されているものの、当社として第2四半期会計期間末現在における実質保有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況は株主名簿の記載内容に基づいて記載しております。

大量保有者 エボファンド(Evo Fund)
住所 ケイマン諸島 グランド・ケイマン KY1-9005 ジョージ・タウン エルジン・アベニュー 190
所有株式数 10,000千株
発行済株式総数に対する所有株式数の割合 34.56%

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

- 各種手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。
当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

- 証券会社等の口座で所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座で所有の株主様
(証券会社等にお取引口座がない株主様)
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (TEL 0120-232-711 (通話料無料))にお問合せください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>